佐賀市農業委員の推薦及び応募状況（最終公表）

３　一般応募

NO	農業委員候補者										
	氏名	性別	年齢（歳）	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者等として認定の有無	応募の理由	農地利用最適化推進委員への応募の有無
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積（a）			
1	中山　光	男	67	無職	平成15年4月 平成27年4月 平成29年4月 平成31年3月 令和3年4月	佐賀市役所　農林水産部 佐賀市役所　農業委員会事務局 佐賀市役所　農林水産部 退職 農業委員			無	佐賀市役所及び農業委員での経験を活かしたい。	無

2	平野　剛	男	59	行政書士（自由業、自営業）		①サングリーン大和自治会（大和町大字東山田）三役（会計担当） ②『吉野ヶ里町誌』（2008年刊、吉野ケ里町誌編集委員会）執筆委員として、佐賀大学農学部准教授らとともに集落調査及び執筆（農地、水利他） ③行政書士事務所代表（大川市）（入管届出済取次行政書士、丁種封印会員・自動車登録ワンストップサービス(oss)支店登録） ④多面的機能支払い交付金事務受託行政書士登録 ⑤災害復興支援員行政書士 ⑥佐賀市上下水道事業経営審議会委員			無	農地転用された分譲宅地を30年前に購入して家を建て、大和町が合併する前から、地域の変容・活性化に住民として主体的に関わってきた。2006年から『吉野ヶ里町誌』の集落調査・執筆をする中で、農地や水利を守り続ける農家の方々の営々たる歩みに感銘を受けた。今、行政書士として、大川市から佐賀市を縦断して三瀬を越えて移動することがしばしばあるが、農地転用許可権限に係る指定市町村の指定がされた佐賀市で、直接・迅速に、自身の知識や中立的感覚を役立てることができるのではと思い、応募した。 申請に対して許可するか否かの公正な判断のための私自身がもつ法的根拠に責任をもつための研鑽に努めることはもちろん、その土地を愛する方々から、委員として気軽に相談してもらえるようになりたい（行政書士業務ではなく、委員報酬の対価として。）。そのために、土日平日を問わず、大和町や諸富・川副町他の住民の方々（国籍を問わず。）や農漁工商業の事業主と一緒に知恵を合わせ、人を結んで法人化したり、地域と行政との距離を今以上に縮めたりして、経済が回っていく地域づくりの下支えをしていきたい。	有